

## 目次

## 第1部 家裁調査官の仕事

## 第1章 家庭裁判所と家庭事件 2

1	はじめに	2
2	家庭裁判所	4
3	家庭事件	4
	(1) 少年保護事件 4/(2) 家事(審判・調停)事件	5
4	家庭裁判所の2つの機能	7
	(1) 司法的機能 7/(2) 福祉的機能	8

## 第2章 家裁調査官 11

1	家庭調査官とは	11
2	家裁調査官の調査	11
	(1) 事件の調査 11/(2) 事実の調査	14
3	科学的理解	15
	(1) 家裁調査官の専門性 15/(2) サイエнтиスト・プラクティショナー	18
4	経験知の社会への還元	20
	(1) 求められるアセスメントとプランニング 20/(2) よくない調査	21/
	(3) 事実の調査技術に対する社会のニーズ	25/
	(4) 経験知と調査技術の社会への還元	27

## 第2部 事実をとらえる基礎技術

### 第1章 事実を知る時代 32

- 1 見えないところで何かが起きている .....32
- 2 事実からの出発 .....33
- 3 なぜ「事実」が重要なのか .....34

### 第2章 事実をとらえる技術 36

- 1 「事実」——その姿とかたち .....36
  - (1) 「主観的事実」と「客観的事実」 36/(2) 推論を含んだ事実 37
- 2 事実の厄介さ .....38
  - (1) 事実は姿を見せたがらない 39/(2) 事実は話(説明や主張) 39/
  - (3) 事実は隠れ(し)たがる 40/(4) 全貌が見えない 41
- 3 事実に迫るために .....42
  - (1) 情報の「収集」と「確かめ」 42/(2) 事実を浮かび上がらせる 43/
  - (3) 当事者の防衛と抵抗 43
- 4 「技術」のむずかしさ .....44
  - (1) 「行為知」と「実践知」 44/(2) 「暗黙知」と「形式知」 45/
  - (3) 「プロセス」の問題 47/(4) 「方法論」の問題 48/
  - (5) 「スキル」の上達 49

### 第3章 家裁調査官の調査面接 51

- 1 面接調査と質問法 .....51
  - (1) 調査的面接 51/(2) 2つの質問法 52/(3) 情報を引き出す技術 54
- 2 実践的質問法 .....54
  - (1) 枠づけした質問 54/(2) 横に広がる質問 55/

- (3) 縦に広がる質問 56／
- (4) 「抽象的・一般的」と「具体的・個別的」との行き来 57

## 第4章 実践的調査技術 58

- 1 「生活—感情—主張（行動）」図式モデル .....58
  - (1) 「主張」と「事実」のとらえ方 58／(2) 「感情」と「思い」 59／
  - (3) 「事実の裏づけのある主張」と「事実の裏づけのない主張」 60
- 2 「議論のモデル」によるとらえ方 .....62
  - (1) 「主張」「根拠」「論拠」 62／(2) 「根拠」と「論拠」の重要性 62／
  - (3) 「正当な主張」と「正当でない主張」 63／(4) 毅然とした態度 65
- 3 「主体・客体・行為」モデルによるとらえ方 .....66
  - (1) 「主体」「客体」「行為」 66／(2) 否認の構図 67

## 第5章 調査の補助ツール 69

- 1 「仮説」と「仮定」 .....69
  - (1) 仮説 69／(2) 仮説思考 69／(3) 仮定 70
- 2 「推論」と「思考のショートカット」 .....72
  - (1) 推論 72／(2) 思考のショートカット 73
- 3 「知識」と「知識の網の目」 .....75
  - (1) 知識 75／(2) 知識の網の目 76
- 4 「事実をとらえていく技術」モデル .....77

## 第6章 話のとらえ方 79

- 1 話がわかる .....79
  - (1) 出来事の記憶 79／(2) 「区別」と「一致」 80／
  - (3) 「わかる」とは何か 81／(4) 「重ね合わせの理解」と「発見的理解」 81
- 2 客観的にとらえる .....82

## 目次

- (1) 「主観的な態度」と「客観的な態度」 82/(2) 論理的な理解 83/
- (3) 隠れた情報の理解 84
- 3 適切な判断 .....86
  - (1) 判断の基準 86/(2) 「弁証法」によるとらえ方 87/
  - (3) 不正行為の大・小 89

## 第7章 事実に向き合う視点 92

- 1 「強者」対「弱者」 .....92
- 2 「主張」と「行動」を見比べる .....94
  - (1) 「うそ」とその理解 94/(2) 「主張」と「行動」の食い違い 95
- 3 違う場面・違う状況での説明 .....96

## 第3部 家庭事件の読み取り方

### 第1章 少年事件 100

- 1 少年事件のとらえ方 .....100
  - (1) ケースのとらえ方 100/(2) 主張（行動）の三層構造 103/
  - (3) 動機の理解 105
- 2 少年事件の理解 .....108
  - (1) 要保護性 108/(2) 感染型非行 111/(3) 不適応型非行 113/
  - (4) 反社会的非行 115
- 3 非行少年の理解 .....117
  - (1) さびしさ 117/(2) 「怒り」と「傷つき」 119/(3) 自己愛憤怒 125
- 4 非行の背景にあるもの .....127
  - (1) 敵意バイアス 127/(2) ピア・プレッシャー 130/
  - (3) 正義からの非行 132

5 反社会性の形成 .....	134
(1) 発達障害 134/(2) 学業成績 140/	
(3) セレクティブ・サンクション 143	
6 非行少年の説明 .....	146
(1) 「意志が弱かった」 146/(2) 「殺すつもりはなかった」(1) 148/	
(3) 「殺すつもりはなかった」(2) 151	
7 親の養育姿勢と少年非行 .....	154
(1) 親への反発 154/(2) 親を困らせてやりたい 157/	
(3) 非行の否認と自己正当化 159	
8 非行少年の「こころの闇」とは何か .....	162
(1) 親と子の密着した関係 162/(2) 「気持ち」と「感情」 164/	
(3) 長い潜伏期間 166/(4) 重大事件の起こり方 167	
9 非行少年を立ち直らせるもの .....	169
(1) サポート 169/(2) セカンド・チャンス 171/(3) 自己効力感 173	

## 第2章 家事事件 177

1 日本の夫婦（家族）の背景にあるもの .....	177
(1) 儒教文化の国 177/(2) 武士道の道徳律 178/	
(3) 江戸時代と明治維新以後との連続性 180	
2 家族モデルと家制度 .....	182
(1) 家制度 182/(2) 「家制度」下における家族 183/	
(3) 性別役割分業 184	
3 家事紛争の特殊性 .....	186
(1) 密着した生活 186/(2) 家族生活の二面性 187/	
(3) 感情のエスカレート 189/(4) 立場の主張 190	
4 家事紛争のとらえ方 .....	191

## 目次

(1) 離婚（調停）事件における事実 191／(2) 価値主張 192／	
(3) 事実のとらえ方 193	
5 離婚（調停）事件の話の聞き方 .....	194
(1) 双方から話を聞く 195／(2) 句読点打ち 197／	
(3) 「思い込み」や「願望」から出た事実 199	
6 離婚（調停）事件の読み取り方 .....	201
(1) 微細な権力行使 201／(2) 子どもをもつことの危機 204／	
(3) 本質洞察 207	
7 当事者の理解 .....	209
(1) つらい気持ち 209／(2) 当事者の内面 212／	
(3) 怒りの気持ち 214／(4) 健全な気持ち 216／	
(5) ライフストーリー 218	

## 第3章 家庭内暴力 223

1 ドメスティック・バイオレンス（DV）のとらえ方 .....	223
(1) 考え方と価値観を知る 223／(2) 表面的でない理解 225／	
(3) DVにおける支配 229	
2 モラル・ハラスメントのとらえ方 .....	232
(1) モラル・ハラスメントの理解 232／(2) 当事者の行動と心理を知る 235	

## 第4章 児童虐待 238

1 児童虐待の理解 .....	238
(1) 児童虐待はさまざま 238／(2) 虐待確認のむずかしさ 242／	
(3) 親の「権威」と「権力」 242	
2 虐待の背景にある「怒り」 .....	244
(1) 親の期待 244／(2) 引き金思考 246／(3) 怒りのサイクル 248	
3 「怒り」から「暴力」へ .....	249

(1) 「おまえが悪い」	249	(2) 親の「引き金思考」	250	/
(3) 「怒り」の高まり	252	(4) 怒りの抑制	254	
<b>4 虐待行為の否認</b>				<b>255</b>
(1) 理由づけ——否認(1)	255	(2) 子ども批判——否認(2)	258	/
(3) 対抗措置——否認(3)	260			
<b>5 なぜ親と対立してしまうのか</b>				<b>262</b>
(1) 親との対立	262	(2) 「内的観点」と「外的観点」	264	/
(3) 親の虐待行為の理解	266			
<b>6 親へのアプローチ</b>				<b>267</b>
(1) 子育ての共有	267	(2) アクティブ・リスニングの勧め	270	/
(3) アクティブ・リスニングの実際	273	(4) 対決	281	
おわりに	286			